



# 環境経営レポート2021

報告期間：2021年 6月 1日 ~ 2022年 5月 31日

VAIO株式会社

発行日：2022年 8月 31日



# 目次

1. はじめに	3
2. 会社概要	4
3. 環境経営理念・方針、環境経営組織	5
4. SDGs への貢献	6
5. サイト環境活動	7
6. 製品環境活動	11
7. 生物多様性保全活動	16
8. 環境コミュニケーション	17
9. 環境教育・緊急時対応訓練	18
10. 社会貢献活動	19
11. 使用済み製品のリサイクル	20
12. 環境関連法規制の遵守評価	21
13. 環境マネジメントレビュー	22
14. 環境経営方針の改定	25

# 1. はじめに

VAIOの誕生は今から四半世紀ほど前、1997年にさかのぼります。ソニー株式会社のパーソナルコンピュータ・ブランドとして登場したVAIO。その製品は、軽量・薄型のモバイル・ノートパソコンを中心に世代を超えて世界中の人々に愛されてきました。2014年にソニーから独立してVAIO株式会社となってからも、私どもはその伝統を受け継ぎ、高性能・高品質の製品を北アルプスの麓、長野県安曇野の本社工場を拠点に産み出し続けています。

VAIOが醸し出すモチーフは、「自由」そして「挑戦」です。私たちは常に製品を使っていただく方を想い、その方たちに最高のコンピューティング体験をしていただけるようなものづくりにこだわり続けてまいりました。VAIO独特のスタイリッシュなデザイン、そして製品の快適な操作性や信頼感、そこから導き出される所有と使用の満足感・・・それらをもとに、お客様の皆さまが「自由」な発想でさまざまなことに「挑戦」することができれば、大変嬉しく思います。

IT業界はどんどん進化を続けています。私どももパソコンだけにとらわれない、さまざまなイノベーションに挑戦して、皆さまとともに豊かな未来の社会を創れるように努めてまいりたいと存じます。

VAIOは2014年の設立以来、一貫して環境経営を推進し、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得しています。気候変動や資源枯渇といった様々な地球環境問題が顕在化する中、環境への取り組みを企業の責任と認識し、事業活動やモノ作りにおいて環境負荷低減を図り、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



VAIO株式会社  
代表取締役  
執行役員社長

山野 正樹



## 2. 会社概要

2022年8月1日時点

会社名	VAIO株式会社		
設立日	2014年7月1日		
代表取締役社長	山野 正樹		
本社・本社工場	〒399-8282	長野県安曇野市豊科5432	TEL : 0263-87-0810 (代表)
東京オフィス	〒105-0001	東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル16階	TEL : 03-6420-0960 (代表)
大阪オフィス	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1 大阪江戸堀センタービル9階	TEL : 06-6225-1610 (代表)
名古屋オフィス	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-2-3 名古屋日興証券ビル4階	TEL : 052-269-8028 (代表)
福岡オフィス	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20 NMF博多駅前ビル 2階	TEL : 092-419-2380 (代表)
URL	<a href="https://vaio.com/">https://vaio.com/</a>		
事業内容	PC事業：企画、設計、開発、製造および販売と、それに付随するサービス		
事業年度	6月～5月		
資本金	1,552百万円		
	本社・本社工場	東京オフィス他	
従業員数	359人	119人	(派遣社員等含む)
延床面積	30,486m <sup>2</sup>	541.4m <sup>2</sup>	
環境責任者	山野 正樹		
環境管理責任者	(副) 奥原 剛		
環境事務局	(サイト環境) 泉 泰志、 由上 秀一、 青柳 秀典 (製品環境) 内田 昌樹、 黒岩 浩司、 青柳 美穂		



# 3. 環境経営理念・方針、環境経営組織

## 【 環境経営理念 】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

## 【 環境経営方針 】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及びSDGs の達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化により、CO<sub>2</sub> 排出量を削減します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化推進により、廃棄物を削減します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。  
また、環境経営方針は社外にも公表します。

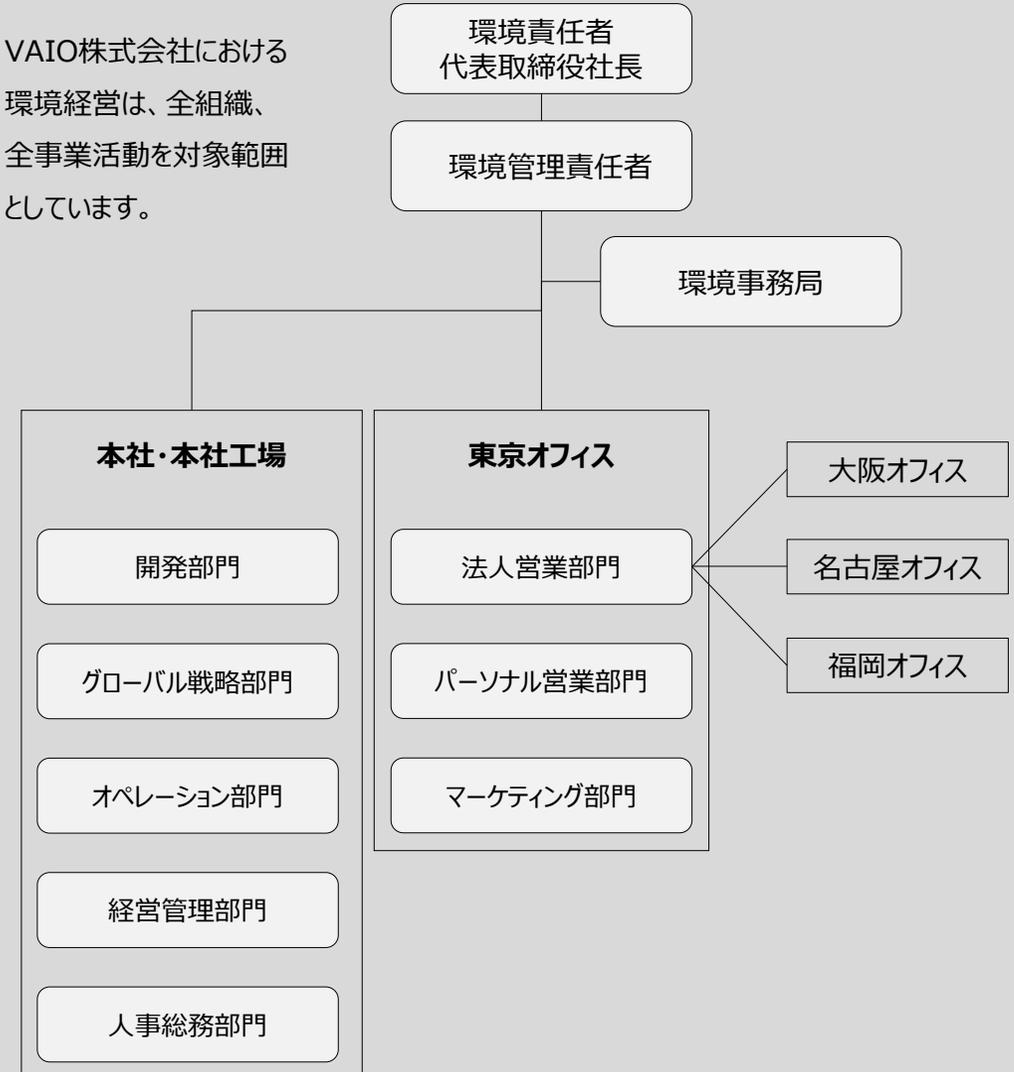
制定日：2015年1月28日

改定日：2021年6月 1日

VAIO株式会社  
代表取締役社長 山野 正樹

## 【 環境経営組織 】

VAIO株式会社における環境経営は、全組織、全事業活動を対象範囲としています。



# 4. SDGs への貢献

2021年度は、13ゴールに貢献しています。

前年度より、4ゴール増です。

✓：貢献中



	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 成長・雇用	9 イノベーション	10 不平等	11 都市	12 生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段		
製品環境	消費電力削減						✓		✓			✓	✓						
	バージンプラスチック使用削減								✓			✓		✓					
	製品含有化学物質管理			✓		✓										✓			
サイト環境	CO <sub>2</sub> 廃出量削減						✓					✓	✓		✓				
	廃棄物排出量削減、リサイクル率向上						✓					✓	✓		✓				
	水道使用量削減					✓						✓							
	グリーン購入率向上											✓			✓				
部署の活動	働き方改革（早残・ノー残、テレワーク、男性育児休暇定着）・ソコワク		✓		✓		✓	✓					✓						
	設備更新・LED化推進による電力削減						✓	✓			✓	✓	✓						
	部品・材料の余剰リスク回避						✓					✓	✓		✓				
	品質改善・環境配慮製品の販売促進						✓	✓				✓	✓		✓			✓	
	新型コロナワクチン職域接種（従業員だけでなく、ご家族や関連会社も含めて実施）			✓					✓										
	外部とのコミュニケーション、社会貢献活動				✓							✓	✓		✓				
絶滅危惧種のチョウ「オオルリジミ」保護活動															✓				

# 5. サイト環境活動

## 目標設定

サイト環境におけるCO<sub>2</sub>排出量および廃棄物排出量は、事業規模による変動があるため、売上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに2016年度の実績を『100』として換算した原単位を用いています。2016年度を基準年度とし、2017年度以降は年2ポイントずつ削減することを目標としています。

## 2021年度の結果

取組項目	単位	2021年度		
		目標	実績	評価
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	原単位	90 以下	60	○
廃棄物排出量の削減	原単位	90 以下	71	○
リサイクル率の向上	%	90.0 以上	89.5	×
水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	13,320 以下	12,734	○
グリーン購入率の向上	%	90.0 以上	87.3	×

※原単位について：売上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに、2016年度の実績を『100』として換算したものです。

※電力の二酸化炭素排出係数：本社・本社工場：0.000426 t-CO<sub>2</sub>/kWh（中部電力ミライズ2019年度実績・調整後排出係数）、東京オフィス：0.000442 t-CO<sub>2</sub>/kWh（東京電力エナジーパートナー2019年度実績・調整後排出係数）

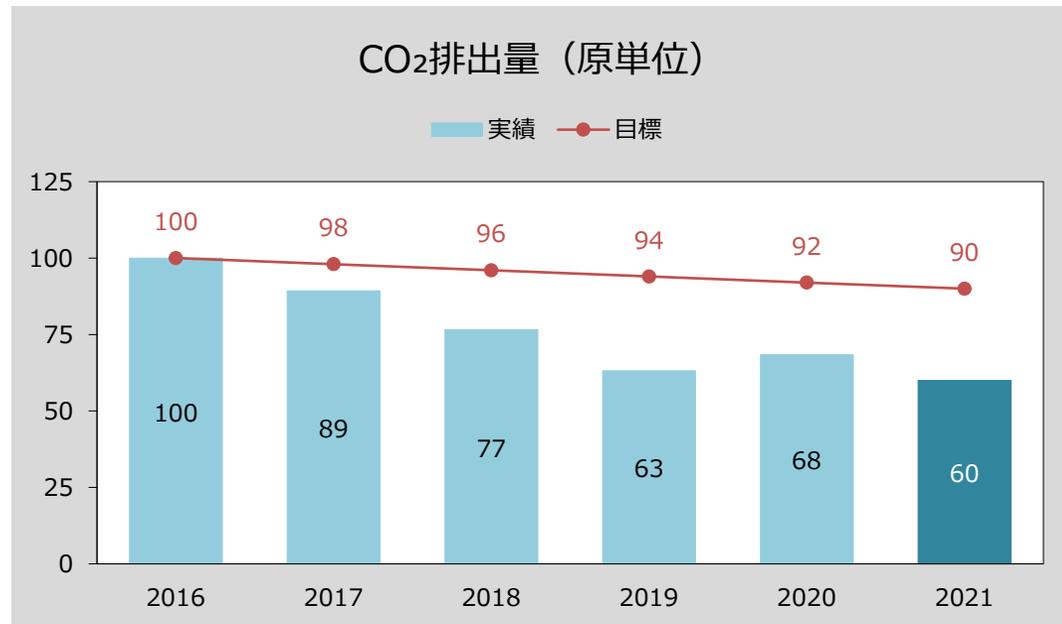
# CO<sub>2</sub> 排出量の削減

## 全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

全社における「CO<sub>2</sub> 排出量の削減」は、2021年度目標を達成しました。

- 温度管理の徹底（冬20℃、夏28℃）：本社・本社工場、東京オフィス
- 内外温度を確認し外気の取り込みにより温度調整：本社・本社工場
- テレワークの継続的实施：全社
- 1号棟の蒸気ストップ：本社・本社工場

結果	本社・本社工場	1,375 t-CO <sub>2</sub>	98.40%
	東京オフィス他	22 t-CO <sub>2</sub>	1.60%
	合計	1,397 t-CO <sub>2</sub>	100%



# リサイクル率の向上

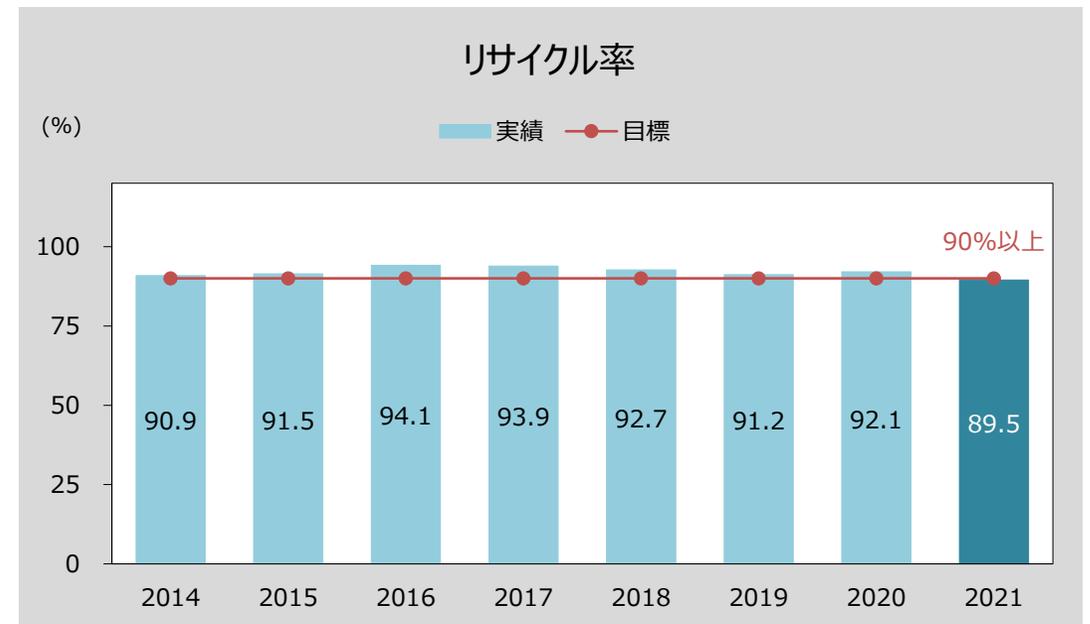
## 全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

全社における「リサイクル率の向上」は、2021年度目標に対して未達となりました。

取り組みとしては、

- 各職場に「リサイクルステーション」を設置
- 分別徹底の推進（リサイクルステーションの監視強化）
- 一般可燃物削減に向けた分別強化

を継続的に実施しましたが、未達の要因としては今年度は廃棄業者のトラックが確保できず、リサイクル品の処理が年度を跨ぎ持ち越されたことが影響しました。



# 廃棄物排出量の削減

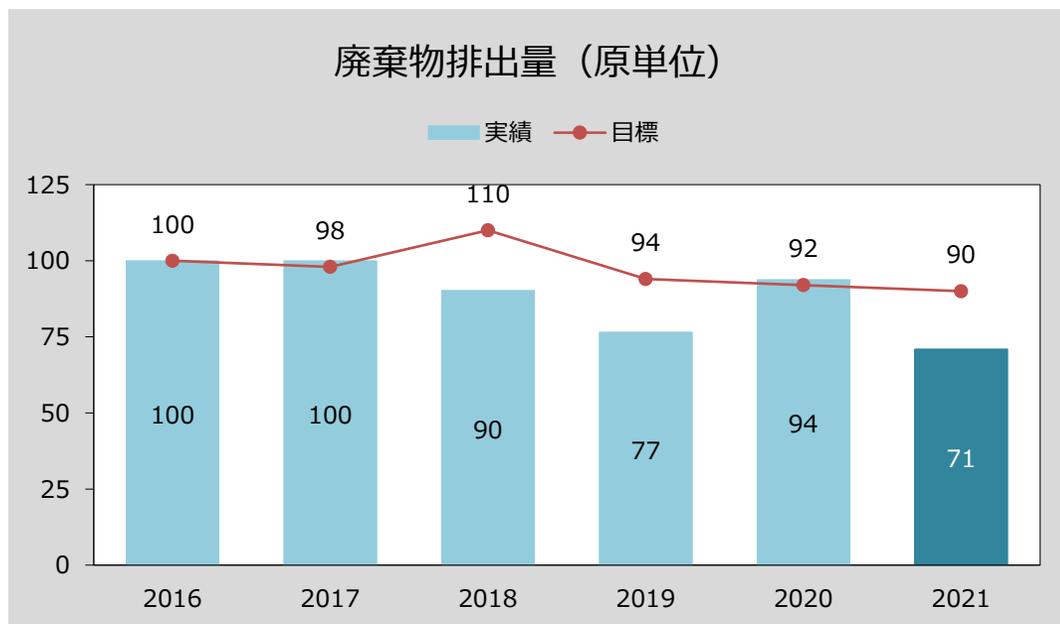
## 全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

全社における「廃棄物排出量の削減」は、2021年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 社内ホームページに廃棄物情報を掲載
- 分別徹底の推進(現場への表示・ステーション監視強化)
- 電子化・両面コピー・裏紙使用の推進
- 廃棄物データ分析の継続

を継続的に実施しました。



# 水道使用量の削減

## 本社・本社工場

本社・本社工場における「水道使用量の削減」は、2021年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 日常生活での節水の啓発
- 水道蛇口の水量調整を各所洗面台へ展開
- 水量データの計測・分析を行い、漏水の有無と漏水エリアの割り出し

を実施しました。東京オフィス他においては、節水の啓発のみを実施しました。

# グリーン購入率の向上

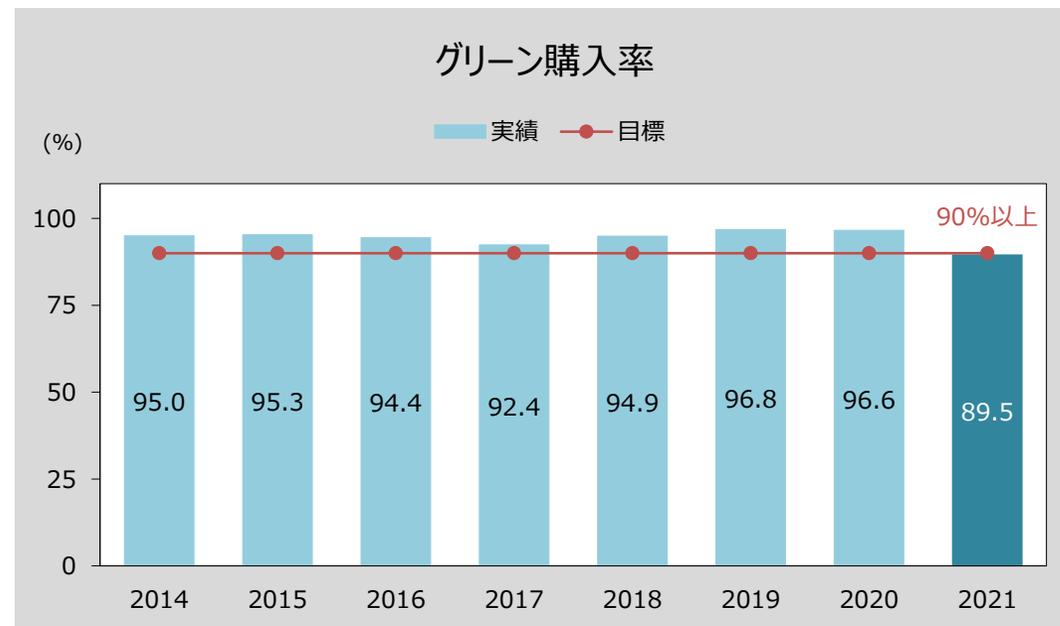
## 全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

全社における「グリーン購入率の向上」は、2021年度目標に対して未達となりました。

取り組みとしては、

- 購入依頼品がグリーン商品であるかチェックし、対象でない場合は可能な限り変更を促す。
- グリーン対象品として購入できないか事務局側でも調査

を実施しましたが、未達の要因としては、対象ではないクリアファイルを販促用に一度に大量購入したことが影響しました。



# 6. 製品環境活動

## 目標設定

PC製品においては、2020年度に2025年度を達成年度とした中期目標である「製品環境負荷低減目標2025」を策定し活動しています。  
また、2025年度に至る各年度目標は、2025年度目標をバックキャストして設定しています。

## 2021年度の結果

活動テーマ	取組項目	2021年度		
		目標	実績	評価
エネルギー使用の合理化	省エネ基準の達成※1※2	100%以上	136%	○
	オフモード消費電力の削減※1	0.5W以下	0.30W	○
資源の有効利用	製品本体への再生材と バイオプラスチックの使用含有率向上※1※3	2%以上	3.35%	○
	包装材のプラスチック使用量の削減※4	取説プラ袋廃止	2022年6月以降発売モデルから 取説プラ袋廃止	○
ライフサイクル全体の環境負荷把握	LCA（ライフ・サイクル・アセスメント）導入検討	LCA導入検討	製品LCA計画策定完了	○
		製造にかかる環境負荷を把握	代表モデル製造ラインにおける 電力使用量測定完了	○

※1 2021年度設計モデルの平均値です。

※2 代表スベックにおける省エネ法2022年度基準における達成率です。

※3 再生材とバイオプラスチックの使用含有率：機器に使用されるプラスチック全重量（プリント基板、電子部品、ケーブル、コネクタ、光学部品を除く）中に含有する再生材とバイオプラスチックの重量比です。  
プレコンシューマ材料及びポストコンシューマ材料だけを再生材とみなします。

※4 梱包材のプラスチック使用量の基準年度は2020年です。2025年度までに2020年度モデル比30%以上のプラスチック使用量削減を目標とします。

# 製品環境アセスメント

VAIO株式会社では、製品における環境配慮設計と環境法規制を遵守するため、「製品環境アセスメント」を実施しています。

製品環境アセスメントは、設計部門が行う商品化プロセスにおいて、環境目標設定(Plan)、環境配慮設計(Do)、環境対応・環境法規制遵守確認(Check)、および結果のレビュー(Action)のすべての段階で活用することができるものです。

2021年度も、全モデルの製品環境アセスメントを実施し、環境目標の達成度、自社基準および環境法規制を遵守していることを確認・評価しています。



VAIO S15  
VAIO Pro PH



VAIO SX14  
VAIO Pro PK

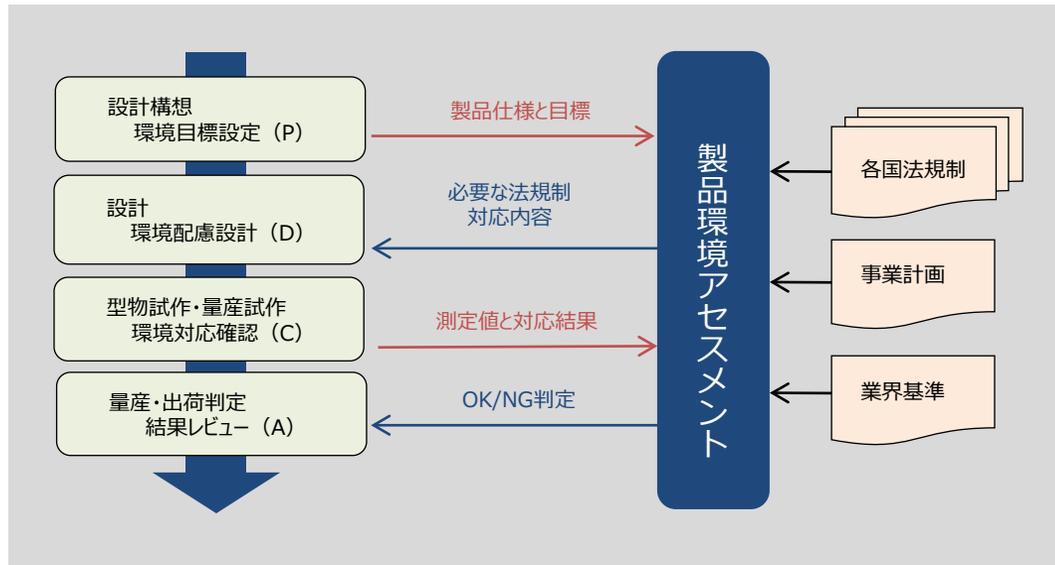


VAIO SX12  
VAIO Pro PJ



VAIO Z  
VAIO Pro Z

## VAIO株式会社における商品化プロセスと製品環境アセスメントの役割



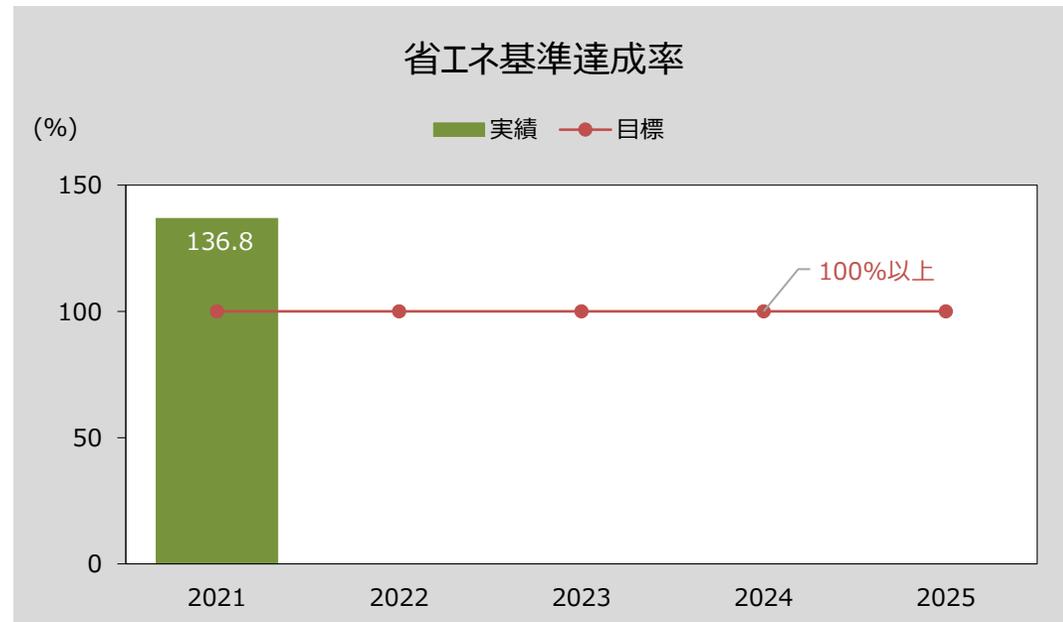
## 製品環境アセスメントにおける評価項目

1. 環境関連物質の管理
    - 1.1 ハロゲンフリー対応
    - 1.2 PVCフリー対応
    - 1.3 アレルギーへの配慮
    - 1.4 シックハウス症候群への配慮
    - 1.5 電池の環境管理物質管理
    - 1.6 水銀フリー対応
    - 1.7 化審法・CLP
  2. 3R推進
    - 2.1 リデュース
    - 2.2 リユース
    - 2.3 リサイクル
  3. 省エネルギー
    - 3.1 ACアダプターの国際効率レベル
    - 3.2 搭載している省電力機能
    - 3.3 オフ時消費電力
    - 3.4 年間消費電力
    - 3.5 バッテリーライフ
  4. 包装
    - 4.1 包装材料
    - 4.2 印刷用インク
    - 4.3 包装材の廃棄容易性
    - 4.4 包装材重量・サイズ
  5. 取説・情報提供
    - 5.1 開示情報と説明内容
    - 5.2 附属書類（紙・インク・重量）
- 各仕向け法規制確認
- ・本体表示
  - ・取説表示
  - ・包装表示
  - ・認証と登録
  - ・環境管理物質

# 省エネ基準の達成

2021年度設計モデルの省エネ基準達成率は、2021年度目標である100%を大きく超える136.8%を達成しました。

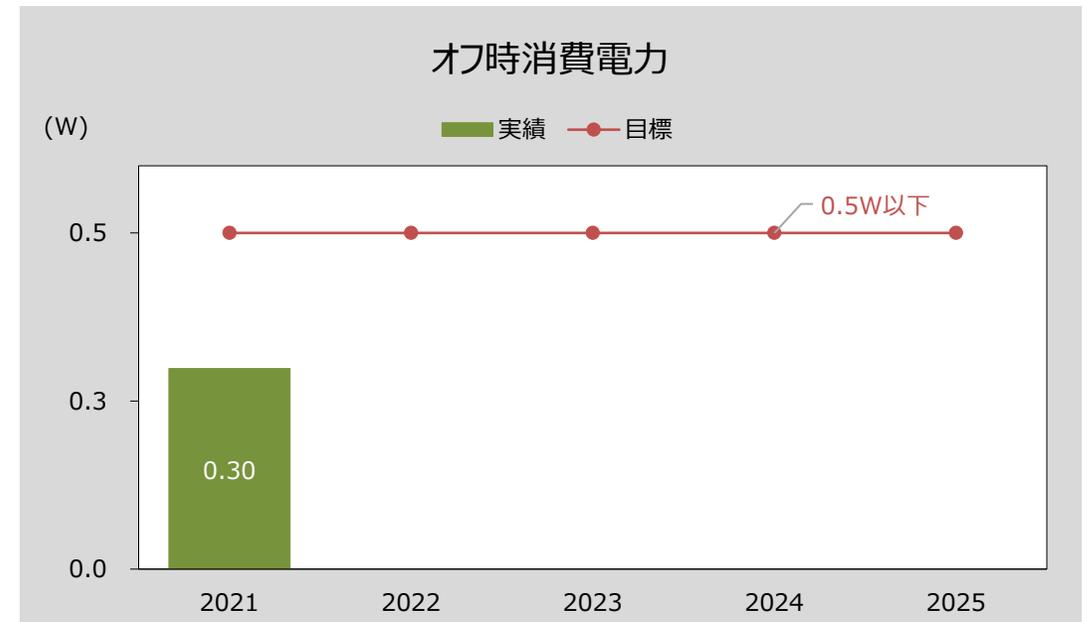
- CPU省電力機能の確実な実装により、無駄な電力消費をギリギリまで抑えるパワーマネジメントが可能です。
- 低消費電力LCDの採用など、省電力デバイスを積極的に採用しています。
- モダンスタンバイに対応することで、PC使用時、何も操作をしないと10分以内に自動的にスリープモードへ移行。スリープ中は最大限の省電力化をするとともに、使用時はスリープモードから瞬時に復帰できることで、長時間バッテリー駆動も実現しました。  
この機能は、VAIO Zより継続しています。



# オフ時消費電力の削減

2021年度設計モデルのオフ時消費電力は、2021年度目標である0.5Wを大きく下回る0.30Wを達成しました。

- 電源オフ時のリーク電流確認
- 電源オフ時のEC省電力機能の実装
- モデルによっては、次世代半導体と呼ばれるGaN（窒化ガリウム）パワー半導体を使用した高効率ACアダプターを採用しています。



# 製品本体への再生材と バイオプラスチックの使用含有率向上

2021年度設計モデルの再生材またはバイオプラスチックの使用含有率は、2021年度目標である2%を大きく上回る3.35%を達成しました。

- VAIO SX12、VAIO SX14では、キーボードフレームに再生プラスチックを使用。原油から作る新品（バージン材）ではなく、リサイクル材を原料に含む再生プラスチックを大物部品へ使用することで、再生材使用率を大幅に向上しました。

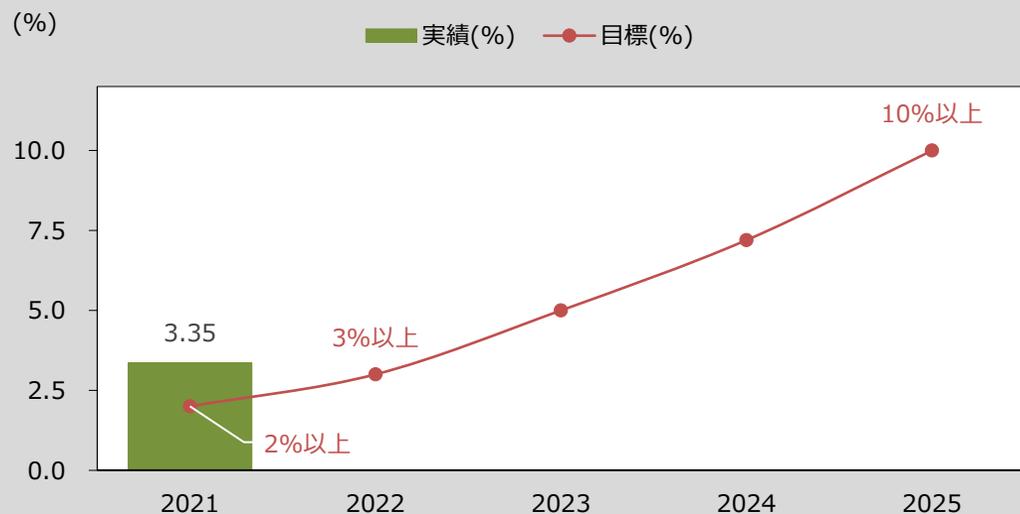


# 包装材のプラスチック使用量の削減

2021年度設計モデルは、「プラスチック包装材使用量の削減」のために、取扱説明書を入れているポリ袋の廃止を目標として、下記検討を行い、ポリ袋から紙包装へ変更することが決まり、2022年6月以降発売の新モデルから対応となります。

- 素材の選定・コストの検討
- 製造ラインで取扱説明書を入れる作業性の確認
- 輸送梱包試験の実施

### 再生材・バイオプラスチック使用含有率



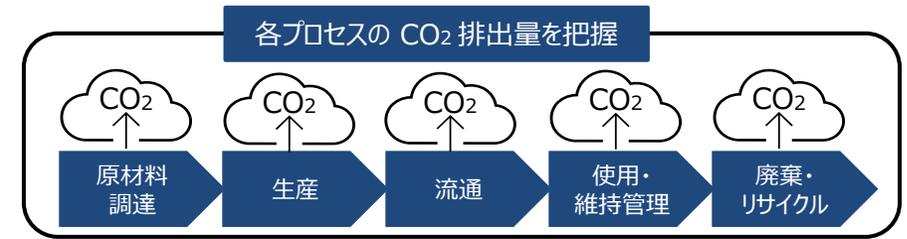
梱包箱にホルダー追加に加え、紙で取説を包む設計でポリ袋削除を実現しました。



# LCA（ライフ・サイクル・アセスメント）導入検討

製品の環境負荷をさらに削減するため、ライフ・サイクル・アセスメント（LCA）の実施を計画しています。

2021年度は、その事前検討として、原材料調達－生産－流通－使用・維持管理－廃棄・リサイクルの各プロセスにおける環境負荷（CO<sub>2</sub>排出量換算）を算定するために、プロセスごとに何が必要かを割り出す検討を行いました。



プロセス	VAIOのプロセス	内容
原材料調達	部品調達	全部品のLCA値（CO <sub>2</sub> 排出量）を把握 1. 部品メーカ、協力工場に問い合わせ 2. 回答が得られなかった場合は、MiLCA <sup>*1</sup> に搭載された IDEA データベースを参照
生産	VAIO本社工場での製造	製造ラインでの電力使用量（測定中）から算出
流通	輸送（VAIO本社工場 → 顧客）	輸送距離・輸送方法・台数または重量から算出
使用・維持管理	使用	国際エネルギースタープログラムにおけるTEC値（年間消費電力）× 平均使用期間5年から算出
廃棄・リサイクル	輸送（顧客 → リサイクル会社）	運送業者に問い合わせ、または輸送距離・輸送方法・台数または重量から算出
	リサイクル	リサイクル時の解体・分別にかかる電力使用量

※1 一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）が発売するLCAソフトウェア

# 7. 生物多様性保全活動

## オオルリシジミの保護活動

絶滅危惧種である草原の蝶「オオルリシジミ」の保護区が安曇野にあり、隣接する地区にも生息域を広げるべく、2021年より、工場敷地にオオルリシジミの餌となるクララを植栽し、保護活動に取り組み始めました。



オオルリシジミ



活動の様子



クララの苗木

オオルリシジミの詳細に関しては、[国営アルプスあづみの公園のホームページ](http://www.azumino-koen.jp/horigane_hotaka/new/topics.php?id=2131)を参照してください。

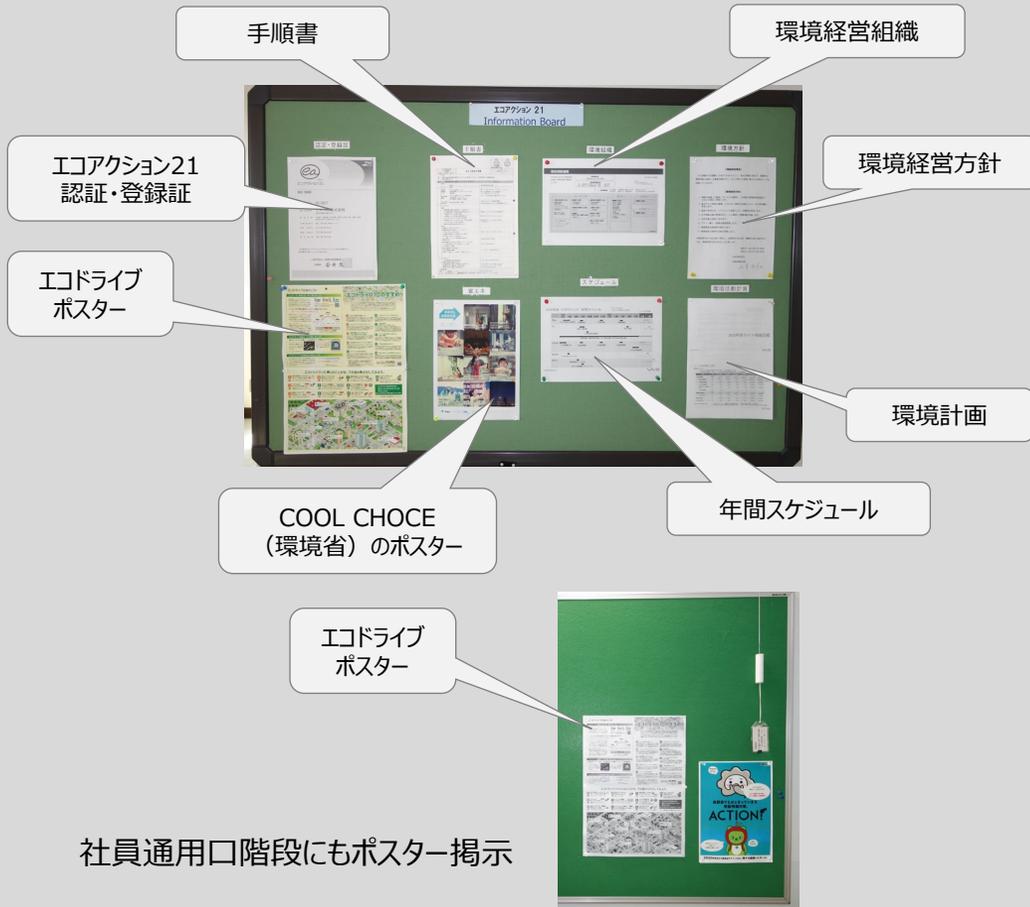
国立アルプスあづみの公園ホームページ ▶ [http://www.azumino-koen.jp/horigane\\_hotaka/new/topics.php?id=2131](http://www.azumino-koen.jp/horigane_hotaka/new/topics.php?id=2131)

本活動にあたり、多大なるご指導をいただいた、長野県生物多様性保全アドバイザー 信州大学名誉教授 農学博士 中村寛志様、岩原の自然と文化を守り育てる会 代表 百瀬新治様、公益財団法人 日本自然保護協会 生物多様性保全部 萩原正朗様には、この場を借りて御礼申し上げます。

# 8. 環境コミュニケーション

## エコアクション21 Information Board

VAIO株式会社では、全従業員が見ることができるように、社員食堂出口に「エコアクション21 Information Board」を設置しています。



## エコアクション21 ポータルサイト

VAIO株式会社では、従業員向けに「エコアクション21 ポータルサイト」を運用しています。

環境経営方針や手順書など、環境経営に必要な文書や記録などにすぐアクセスでき、内部コミュニケーションに大きく役立っています。



## ホームページによる環境情報開示

VAIO株式会社における「環境配慮への取り組み」を、ひとりでも多くの方に知っていただくため、弊社ホームページに「環境情報」を掲載しています。

<https://vaio.com/environment/>



# 9. 環境教育・緊急時対応訓練

## 環境教育

### 環境一般教育（2021年12月）

従業員305人受講



### 新人研修（2022年4月）

2022年4月入社の新入社員5人受講



## 緊急時対応訓練

### 緊急連絡網訓練（2021年9月）

従業員285人参加

### 本社警備室 自主防災訓練（2021年10月）

警備室3人参加

### 高圧ガス保安教育（2021年11月）

ファシリティ担当者1人参加

### 危険物倉庫入出庫者登録教育（2021年11月）

化学物質取扱者9人参加

### 緊急時対応訓練（2021年12月）

ファシリティ関係者4人参加

### 緊急連絡網訓練（2022年3月）

従業員293人参加

☆避難訓練・・・新型コロナの影響や天候不順によって延期となり  
2022年6月に実施

# 10. 社会貢献活動

## 地域美化清掃活動 に約100人が参加

「安曇野市豊科地区一斉清掃」にVAIOとして参加。  
始業前の約30分間、会社周辺道路、公共施設でのゴミ拾いを実施。

活動の様子



2021年11月10日と  
2022年5月25日で  
約100人が参加



## 食堂廃油（天ぷら油）を 障害福祉サービス施設 へ提供

社員食堂から出る廃油“天ぷら油”を施設へ提供し、  
資源有効利用しています。

施設では、これらを家畜飼料に加工しています。



## 使用済 ペットボトル・空き缶 を 障害者就労施設 へ提供

社内から出る飲料用の“ペットボトル”  
および“空き缶”を施設へ提供し、資源有効利用し  
ています。

施設では、これらを分別・減容・圧縮化し  
リサイクル工場へ出荷しています。

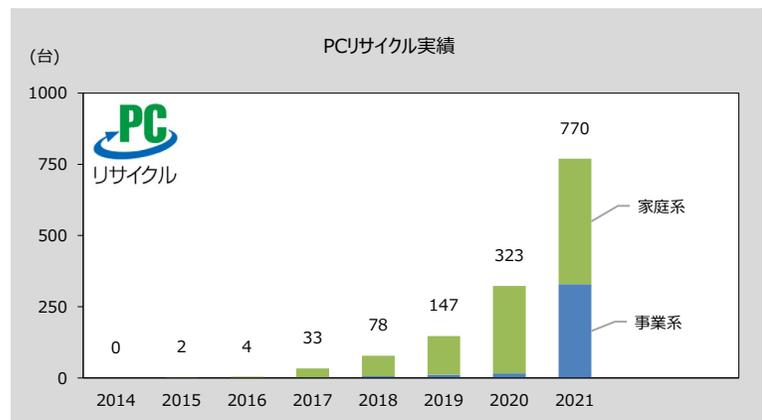


# 11. 使用済み製品のリサイクル

## パソコンリサイクル

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、ご不要となった弊社製パソコンの回収・再資源化を行っています。

弊社製パソコンは「PCリサイクルマーク」を表示しておりますので、お客さまに新たな料金をご負担いただくことなく、弊社が回収・再資源化いたします。



家庭系/事業系	回収・再資源化台数
事業系	329 台
家庭系	441 台
合計	770 台

VAIO株式会社は、一般社団法人 パソコン3R推進協会 の会員です。

## バッテリーリサイクル

製品に用いられている充電式電池（バッテリー）には、リサイクル可能な希少金属材料が使用されています。

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、製品に搭載している充電式電池（バッテリー）の回収・リサイクルの推進に努めています。



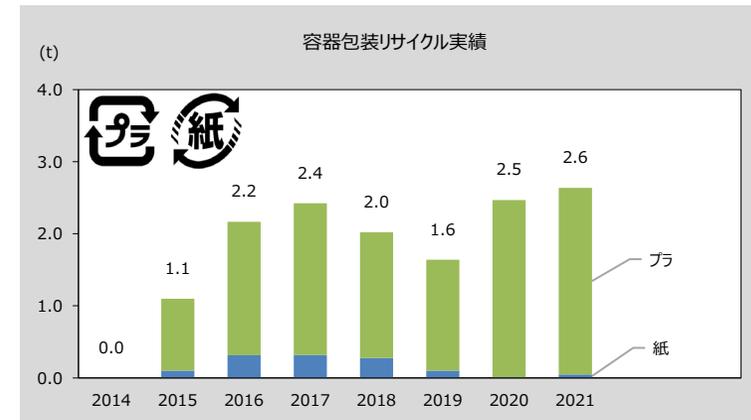
電池種別	リサイクル委託重量
Li-ion (Co系)	30.2 t
Li-ion (Co系以外)	0.0 t
合計	30.2 t

VAIO株式会社は、一般社団法人 JBRC の会員です。

## 容器包装リサイクル

VAIO株式会社では、「容器包装リサイクル法」に基づき、容器包装の再商品化の推進に努めています。

弊社製品に用いられている容器包装には、「資源有効利用促進法」に基づき、識別マークを表示しています。



素材	再商品化委託重量
紙製容器包装	0.0 t
プラスチック製容器包装	2.6 t
合計	2.6 t

VAIO株式会社は、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 の会員です。

## 12. 環境関連法規制の遵守評価

製品およびサイトに関する環境関連の法令、規則、条例等の遵守評価の結果、すべて遵守していることを確認しました。

また、会社設立以来、違反、訴訟および勧告等の発生はありません。

※遵守評価結果 ○：遵守

法規制	遵守評価結果
大気汚染防止法	○
安曇野市公害防止条例	○
騒音規制法	○
長野県公害防止条例（告示）	○
水質汚濁防止法	○
高圧ガス保安法	○
消防法	○
オゾン層保護法	○
廃掃法（産業廃棄物）	○
廃掃法（特別管理産業廃棄物）	○

法規制	遵守評価結果
廃掃法（一般廃棄物）	○
工場立地法	○
長野県景観形成条例	○
安曇野市景観形成条例	○
家電リサイクル法	○
資源有効利用促進法	○
建設資材リサイクル法	○
下水道法	○
フロン排出抑制法	○
小形家電リサイクル法	○

法規制	遵守評価結果
容器包装リサイクル法	○
省エネ法	○
化審法	○
化管法	○
グリーン購入法	○
水銀環境汚染防止法	○
安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例	○
プラスチック資源循環促進法	○

# 13. 環境マネジメントレビュー

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境経営方針	2021年度は2回改定。5月30日の改定ではSBT (Science Based Targets) 1.5℃目標の達成に向け、2030年度に2018年度比50%削減という目標を設定。	問題なし
環境活動組織	全組織を対象としている。2021年度最終は8部門体制。	問題なし
環境経営目標・計画の達成状況 製品環境負荷低減活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度の結果               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 省エネ基準の達成：○</li> <li>② オフモード消費電力の削減：○</li> <li>③ 製品本体の再生材・バイオプラスチック使用含有率の向上：○</li> <li>④ 梱包材のプラスチック使用量の削減：○</li> <li>⑤ 製品のLCA導入検討：○</li> </ul> </li> <li>・取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードフレームに再生材を使用。取扱説明書ブラ袋の削減検討。</li> <li>モダンスタンバイ対応。低消費電力LCDで省エネ化。</li> </ul> </li> </ul>	問題なし
サイト環境負荷低減活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度の結果               <ul style="list-style-type: none"> <li>① CO2排出量の削減：○</li> <li>② 廃棄物排出量の削減：○</li> <li>③ リサイクル率の向上：×(対策検討済)</li> <li>④ 水道使用量の削減：○(監視測定)</li> <li>⑤ グリーン購入率の向上：×(対策検討済)</li> </ul> </li> <li>・取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>1号棟の蒸気ストップ。計画していたLEDの段階的な導入が出来ない中、可能な範囲での入替を実施。</li> </ul> </li> </ul>	問題なし
SDGs および働き方改革への取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsへの取り組み 2021年度は、SDGsの17のゴールに対して、13ゴールに貢献</li> <li>・働き方改革への取り組み Work x IT・・・VAIO働き方改革を推進する広報活動の強化</li> </ul>	問題なし
環境マネジメントシステムの運用・改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書の制定・改訂状況：製品環境：全27文書運用中（4改訂） サイト環境：全16文書運用中（1改訂）</li> <li>・製品環境アセスメント：2021年度全20モデルの製品環境アセスメントを完了</li> <li>・EM-S303 環境管理物質管理基準：Ver.7.0リリース</li> <li>・環境関連法規制新規/改正等の対応：問題なし</li> <li>・使用済み製品のリサイクル実績：PC:増加傾向</li> </ul>	リサイクル品が増えてきているので事業系のリユースを促進していく方面も考えている。まずは業界の状況を確認し、いけそうなら来年度以降で検討する。B2Bのあんしんサポート品で程度の良いものでの対応を考えている。実施出来れば環境対応にもなるし、ビジネスにもなる。

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境マネジメントシステムの運用・改善状況（つづき）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21更新審査：ガイドラインに適合</li> <li>・環境教育・訓練：7項目の教育・訓練を実施</li> <li>・環境事務局が受講したセミナー/ウェビナー 18件：大幅に増加</li> </ul>	（前ページ参照）
遵守評価の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品環境：全て遵守していることを確認</li> <li>・サイト環境 全て遵守していることを確認</li> </ul>	問題なし
問題点の是正・予防状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品環境：1件（VJ8PD65W1 US-EPS規制登録漏れ）：是正処置済、予防処置済</li> <li>・サイト環境：1件（景観法及び安曇野市景観条例への対応）：是正処置済、予防処置済</li> </ul>	問題なし
環境内部監査の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21ガイドライン2017に適合を確認</li> </ul>	問題なし
利害関係者（顧客や地域住民、行政など）からの要望事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望事項：法人顧客より、気候変動における目標設定と取組、およびCDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）への回答要請有</li> <li>・外部コミュニケーション：問い合わせなどにも適切に対応</li> </ul>	問題なし
社会貢献活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域美化清掃活動 に 2回で合わせて社員約100人 が参加</li> <li>・食堂廃油（天ぷら油）を 障害福祉サービス施設 へ提供</li> <li>・使用済 ペットボトル・空き缶 を 障害者就労施設 へ提供</li> </ul>	問題なし
2022年度 製品環境負荷低減目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ基準の達成・オフモード消費電力の削減・製品本体の再生材とバイオプラスチックの使用含有率の向上</li> <li>・梱包材のプラスチック使用量の削減</li> </ul>	問題なし
2022年度 製品のLCA計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トライアルを現行モデルで実施 ・1台当たりのLCAを行う場合、部品のCO2排出量情報が必要この積算でCO2排出量を算出する。</li> <li>・部品調達のCO2排出量の調査、集計を2022年度は行う。</li> </ul>	問題なし
2022年度 サイト環境負荷低減目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2018年度比50%削減」という目標達成に向け、環境負荷を低減したオフィス環境の整備に努める。</li> </ul>	問題なし
2022年度 サイト環境 投資・修繕計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3G1F北 エアコン化工事、1G西側自動ドア設置、LED化3G1F、LED化3G2F</li> <li>⇒2030年度に向けたCO<sub>2</sub>排出量削減イメージ・・・今年度計上のエアコン化とLED化は実施したい。先々は目立った施策がなくグリーン電力の導入等も検討しないと目標の達成が難しい。</li> </ul>	グリーン電力導入はもう少し安くないと切り替えが難しい。予算計上しているエアコン化やLED化はタイミングをみて実施。下期ヘシフトになるが、早く入れることにより重油削減になるならバランスを見て判断。

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
SBTとCDPへの取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBT (Science Based Targets) 目標を設定し中小企業向けSBTを申請。提出した目標が承認され、7/21にターゲットレビュープロセスを完了。公表された。</li> <li>・CDP (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト) 法人顧客より依頼のあった「CDPサプライチェーンプログラム設問書」への回答は7/25に完了。</li> </ul>	問題なし



環境責任者（代表取締役社長）による全体評価		見直し指示
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更必要 <input checked="" type="checkbox"/> 変更不要 <input type="checkbox"/> 検討必要	2021年度末に改定したので、2022年度は継続とする。
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更必要 <input checked="" type="checkbox"/> 変更不要 <input type="checkbox"/> 検討必要	順調に進捗しているため、事務局提案の目標・計画で進めてください。
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更必要 <input checked="" type="checkbox"/> 変更不要	継続してください。
総評	<p>環境事務局は、副業的な中、よくやっていると思う。これからはISO14001やEPEAT対応も考えていかなければならないが、その際は必要な人員確保も考えている。やるべきことは増加・高度化してきているので、今までのやり方を見直すことも必要。特に社内資料は作り込み過ぎないこと。環境対応は今のところ順調に進んでいるので、このまま活動を継続してください。</p>	

# 14. 環境経営方針の改定

## 【環境経営理念】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、持続可能な社会の実現に貢献します。

## 【環境経営方針】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及びSDGsの達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化を行い、2030年度にCO<sub>2</sub>排出量を2018年度比で50%削減します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化を推進し、循環型社会の実現を目指します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量を適切に管理します。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。  
また、環境経営方針は社外にも公表します。

制定日：2015年1月28日

改定日：2022年5月30日

VAIO株式会社

代表取締役社長 山野 正樹

## 気候変動への取り組み

産業革命以降の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑える「1.5℃目標」達成に向け、世界は大きく動き始めています。

VAIO株式会社は、この「1.5℃目標」達成に向け、2030年度を目標年度とする温室効果ガス削減目標を2018年度比で50%削減に改定し、環境経営方針に掲げました。



VAIO株式会社の温室効果ガス削減目標は、国際的な気候変動イニシアチブである SBTi により「中小企業版 SBT」の認定を取得しています。



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

※SBTiおよびSBTの詳細については、環境省のホームページを参照してください。  
[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/intr\\_trends.html#no07](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html#no07)



「VAIO環境経営レポート2021」を最後までお読みいただきありがとうございます。

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、  
身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、  
持続可能な社会の実現に貢献します。

